

関東米粉食品メールマガジン

第222号 2019. 9. 25【毎月1回発行】

(2006. 7.20創刊)

*****< イベント >*****

1. 「ノングルテン米粉の製造と同加工品普及講習会」を開催 (東京会場；10月25日)

日本米粉協会では、食品製造業者等を対象とした講習会を開催して、「ノングルテン米粉を使った加工品」に「ノングルテン米粉使用」などロゴマークによる強調表示を行うことができる登録制度の普及・啓発に取り組んでいます。

登録に次の3点を満たすことが必要です。

- ① ノングルテン米粉を主たる原料（無水物換算51%以上）として使用し、食品表示法上の小麦に係る特定原材料表示が不要な加工品であって、大麦・ライ麦・オーツ麦を原料として使用しないもの
- ② HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を行う事業者
- ③ 日本米粉協会が主催する講習会を品質・衛生管理責任者が受講した事業者

今回の講習会は、上記登録要件の③に該当しますので、ノングルテン米粉を使用した加工品の登録をお考えの食品製造・加工等関連事業者の皆様は、是非、参加ください。

●定員120名、参加費無料、**参加者には受講修了証を交付**（申込みは、以下URLから）

http://www.komeko.org/course_nongluten/

日時：10月25日（金）10:00～15:40（東京会場）

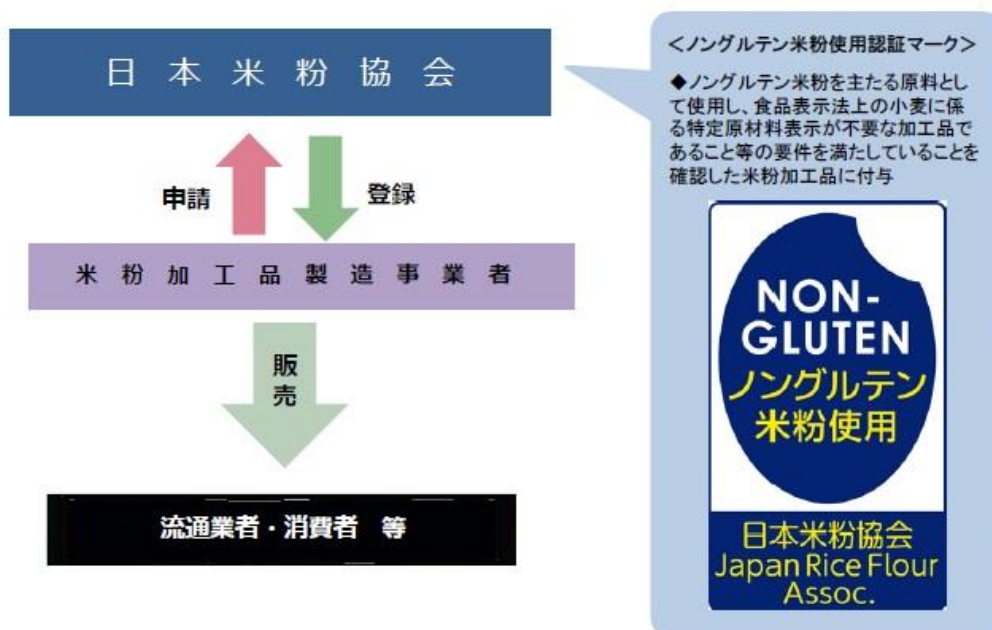
場所：TKP東京駅セントラルカンファレンスセンターホール

（東京都中央区八重洲1-8-16新槇町ビル10F）



《 ノングルテン米粉を使用した加工品の登録制度の概要 》

- 日本米粉協会は、令和元年9月に「ノングルテン米粉を使用した加工品の登録」を開始。
- 日本米粉協会へ申請し、要件に合致し登録された事業者は、申請の米粉加工品に「ノングルテン米粉使用マーク」を表示して販売できる。



2. 農林水産省主催「米粉用米の情報交換会」を開催

(栃木県；10月28日)

最近の米粉用米の状況は、「ノングルテン米粉認証制度」や「米粉の用途別基準」の運用が開始されたこと等により国内市場は活性化しており、さらに輸出の拡大も見込まれていることから、米粉用米の生産拡大を望む声が大きくなっております。

このような米粉用米の需要を拡大・定着していくため、農林水産省では昨年に引き続き、実需者と生産者が互いのニーズを把握し、需要に見合った米粉用米の生産、消費者ニーズに応えた米粉製品の製造が安定的に行われるよう、情報交換会を開催します。

3. 「みんなのアレルギーEXPO 2019」に出展

(10月29～30日)

関東米粉食品普及推進協議会では、**一般社団法人日本環境保健機構（とうきょう米粉ネットワーク会員）**主催の「みんなのアレルギーEXPO 2019」に出展します。

当日は『グルテンフリー・米粉の需要拡大に向けた様々な取組を紹介』をテーマに、米粉の特性を活かした米粉・米粉製品によるグルテンフリー市場での取り組みをパネルやリーフレットで紹介します。また、同協議会会員提供によるグルテンフリーに特化した米粉製品等の情報を発信します。

<http://expo.jeho.or.jp/>

日時：10月29日（火）12:00～19:00、30日（水）10:00～16:00

場所：京王プラザホテル 4階（東京都新宿区西新宿2-2-1）



4. 「2019 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」に出展

(11月16～17日)



埼玉県米粉利用食品推進連絡会では、県内最大の農業イベント「2019 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」で、埼玉県米消費拡大推進連絡協議会が同時開催する「彩の国米まつり」に出展します。

当日は、米粉のPRと県産米粉の利用拡大の取組の一環として、障害者福祉サービス事業所晴れ晴れとみたけ食品工業株式会社（共に同連絡会会員）がブース出展し、県産米粉を使った以下の試食・販売を行います。

●晴れ晴れ：クッキー、ケーキ、玄米団子など

●みたけ食品工業株式会社：から揚げ、白玉入りスープなど

日時：11月16日（土）～11月17日（日）10:00～15:00 入場無料

場所：まつばら綾瀬川公園（埼玉県草加市松江1-10）

（東武スカイツリーライン獨協大学前（草加松原）駅東口下車徒歩10分）

https://www.ja-saitama.jp/wp/topics/topics_news/5955

5. 「アグリビジネス創出フェア 2019」に出展

(11月20～22日)

関東米粉食品普及推進協議会では、農林水産省が主催する「アグリビジネス創出フェア2019」に出展し、米粉の幅広い分野での利活用に向けた提案や米粉の特性について発信します。当日は、**一般社団法人日本環境保健機構（とうきょう米粉ネットワーク会員）とみたけ食品工業株式会社（埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員）**がノングルテン米粉認証制度の啓発や米ゲルの新たな利用方法等を紹介します。

日時：11月20日（水）～11月22日（金）10:00～17:00

場所：東京ビックサイト 西4ホール（東京都江東区有明3-11-1）

<https://agribiz-fair.maff.go.jp/>



6. 「米マッチングフェア 2019」 展示商談会・セミナーを開催 (東京会場；12月)

業務用米の堅調な需要が見込まれる中、全国農業再生推進機構では、農林水産省の支援の下、業務用米の安定取引に取り組みたい産地と中食・外食事業者等を対象とした「米マッチングフェア 2019」を開催しています。

今回は、お米マイスター等米穀店、中・外食業者等を対象として、商談や試食などを通じて業務用米の“繋がる・取引き”を目指しています。

日時:12月1日(日) 11:00~17:00

場所: 東京ガーデンパレス (東京都文京区湯島 1-7-5)

●業務運営: 一般財団法人日本米穀商連合会 (略称「日米連」)

<http://jrra.or.jp/>



*****< トピックス >*****

1. 令和元年度「新潟県米粉セミナー」を開催 (8月27日)

新潟県では、東京都内において、米粉の商品開発事例や販路開拓の取組等の講演、米粉商品試食会等を通じて、米粉の魅力や可能性についてPRしました。

試食会では県内5企業がブース出展し、米粉パン、米粉パスタ、米粉カレー、米パン粉のフライ、焼菓子、飲料等豊富なラインナップで県産米粉商品の美味しさや魅力を体感していただき、参加者との交流を図りました。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/syokuhin/20190912komeko.html>



2. 茨城県「食のセミナー」で米粉をめぐる状況などを情報提供 (8月28日)

J A水戸TSUNEZUMI 麵'S (いばらき米粉食品普及しよう会会員) では、茨城県が地産地消の推進と栄養教諭・学校栄養職員等の資質向上を目的に開催した「令和元年度 食のセミナー」に参加し、地元産コシヒカリ 100%の米粉を使用した米麺「穂々の空(ほほのそら)」の開発秘話や今後の商品展開などを紹介し、また、農林水産省関東農政局茨城県拠点も、近年の米粉市場の動向や利用拡大に向けた取組などについて情報提供しました。

茨城県の学校給食における米粉利用は、米粉パンを導入しているほか、小麦粉代替としてシチュー、から揚げ、フライドチキンなどにも使われ、今後の米粉利用の拡大が期待されます。

3. 「米粉パンの日」で米粉ベーグルなどを販売 (9月10日)

埼玉県米粉利用食品推進連絡会がさいたま新都心合同庁舎2号館2階ロビーで行った、9月の「米粉パンの日」には季節限定の『たっぷりマロン&バンホーテンココア』が登場。また、甘辛い特製焼き肉ソースがおいしさの秘密の新商品『豚肉と野菜のスタミナ焼き肉サンド』は、程良い栄養バランスとたっぷりとしたボリュームで、1個でランチとして満足いただけます。

今後も、米粉入りベーグル専門店WAベーグル(同連絡会会員)では、埼玉県産米粉と北海道産小麦粉で作ったベーグルや小麦、卵、乳の一部または全部を除去した米粉の焼き菓子に加え、秋から冬の季節にピッタリの旬の素



たっぷりマロン&
バンホーテンココア

材（芋、栗、アップル、イチゴ、ゆずなど）を使った商品を続々登場させる予定です。

今回は、10月1日(火)です。

購入には、事前予約が必要です。関東米粉食品普及推進協議会事務局までご連絡ください
(komeko.kanto@maff.go.jp)。

- 製造者：WA ベーグル（有限会社 食生活）
（埼玉県さいたま市南区神明 1-10-15 メゾン・ド・コリン 1 階）
<http://shokuseikatsu.co.jp/>

4. 消費者の部屋「特別展示」で米粉の魅力をPR (9月17~20日)



農林水産省では、米の消費拡大の取組の一環として「お米でみんなを元気に！～食べて！見て！知ろう！お米・米粉の魅力～」をテーマに、試食や商品展示などを通じてお米・米粉の魅力をPRしました。特に、米粉カレー、米粉パン、米粉菓子を提供した試食タイムは多くの来場者で賑わい、室内が熱くなるほどの盛況ぶりでした。

また、所狭しと並べられた、粉（から揚げ粉、天ぷら粉、ミックス粉など）、パン、麺、ルー、餃子、クッキー、菓子類など多種多様の展示品の中には、米粉の特性の“グルテンフリー”を表示した新製品も数多く、来場者も大いに関心を寄せていました。



<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/komeko/attach/pdf/syuhisya-9.pdf>

*****< インフォメーション >*****

◇【日本産米粉のPR】外国語表記のパンフレットを活用ください

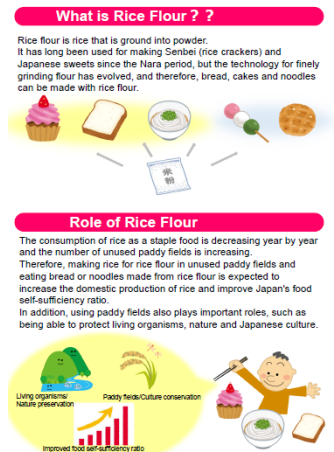
農産物の輸出促進を展開する日本食品海外プロモーションセンター（略称「JFOOD0」）では、米粉の特徴や役割、日本の米粉利用の取組を解説する英語版リーフレットと日本産米粉PRチラシ（英語、仏語、独語、伊語及び西語版）を作成しました。

今年はワールドカップ（ラグビー、ハンドボール）、来年は東京オリンピック・パラリンピックと世界的な大会が日本で開催されます。

様々な機会を捉え、日本産米粉のPRに利用いただければと思います。

リーフレットなどは、農林水産省ホームページの英語版「米粉」のページで入手できますので、是非、活用ください。

<http://www.maff.go.jp/e/policies/agri/riceflour.html>



◇「ノングルテン米粉認証 第3号が誕生」



日本米粉協会では、ノングルテン米粉の第三者認証機関（**一般社団法人日本環境保健機構（とうきょう米粉ネットワーク会員）**）の審査をパスした、ノングルテン認証ロゴマーク使用の第3号に中島製粉株式会社（福岡県）の米粉を認定しました。

「アレルギー患者の増加」が懸念される中、世界最高水準の1μg/g (=1ppm) 以下のグルテン含有量の米粉の出現は国内外からの関心も高く、米粉の利用促進の大きなバネになると思われます。

なお、認証第1号は、**埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員のみたけ食品工業株式会社**が製造する米粉です。

http://www.komeko.org/post_190912/

◇「第4回農のいとなみと鉄道フォトコンテスト」

農林水産省関東農政局では、関東地域の「農のいとなみ」と鉄道の魅力をセットで表現した写真を募集するフォトコンテストを実施しています。

関東地域は約5,000万人の人口を擁する巨大都市圏であり、全域が高度に発展した鉄道網で結ばれています。また、一大農業地帯でもあり、都心から少し足を延ばせば魅力的な「農のいとなみ※」があります。

高度に発達した鉄道網を利用することで、素晴らしい農業景観に簡単に出会えることを、より多くの方々に知っていただくために皆様からの素晴らしい作品をお待ちしています。

※「農のいとなみ」・・・このフォトコンテストでは、田んぼや畑、牧場の景色、直売所、野菜や果物、収穫祭などのイベントやお祭り等、地域の農業に関するもの全てを広くとらえることとしています。

(応募締切：12月31日)

●第4回のフォトコンテスト案内

(応募方法・規格などの詳細は、以下URLから)

<http://www.maff.go.jp/kanto/kikaku/photocontest.html>

第4回 農のいとなみと 作品募集中! 鉄道フォトコンテスト

関東地域にお住まいの方や国内外の観光客の皆様は、鉄道を利用して、都心から少し足を延ばせば魅力的な農業景観に出会えること知っていましたか？、「農のいとなみと鉄道」を撮影した写真を募集します！



応募締切 令和元年12月31日 当日消印有効
募集開始場所 全国鉄道案内フォトコンテスト係
〒330-8722 さいたま市中央区野瀬02-1
電話：048-749-0301 (平日9時~17時まで)
募集開始ホームページ
<http://www.maff.go.jp/kanto/kikaku/photocontest.html>
詳しくは裏面及びホムペをご覧ください！
主催：農林水産省関東農政局
後援：国土交通省関東運輸局、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、一府七都府、関東鉄道広域連携推進協議会、日本農業新聞

◇「米粉をめぐる状況について（農林水産省）」を活用ください

米粉利用の促進に関する資料「米粉をめぐる状況について」の9月版が公開されています。米粉用米の状況、米粉の特徴、支援措置など各種情報が満載です。是非、活用ください。

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/komeko/attach/pdf/index-106.pdf>

◇「米粉食品の販売店等の情報」を提供してください

関東米粉食品普及推進協議会では、米粉利用拡大を一層推進するため、会員の皆様が販売している米粉食品などの情報を収集していますので、「米粉食品PRシート」にて各都県協議会事務局宛てにメールやFAX等で提供ください。

●米粉食品PRシート（エクセルファイル）のダウンロード

http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komeko_jouhou/komekoibento.html

◇「関東米粉食品普及推進協議会会員を募集！」～各都県協議会事務局まで申込みください

新たな米の需要拡大につながる「米粉・米粉食品」の利用拡大を推進するため、会員相互の情報交換や利用促進・啓発等の様々な事業・活動に取り組んでいます。

本会の目的にご賛同いただける個人・法人を募集しています。また、既に会員になられている方で、ご賛同いただけそうな方をご存知でしたら、お声がけをお願いします。

なお、各都県協議会等に加入したと同時に関東米粉食品普及推進協議会の会員となります。

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/>

◇「関東農政局メールマガジン」

農林水産省関東農政局では、行政情報・地域の食と農のイベント情報などをタイムリーにお知らせするため、メールマガジンを発行しています（隔週発行（無料））。

購読を希望される方は、上記のリンクから登録をお願いいたします。

<http://www.maff.go.jp/kanto/houdou/kouhou/merumaga/index.html>

.....

<米粉関連サイトからの情報>

- 関東農政局「米粉情報」
<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/>
- 農林水産省「米粉の情報」
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/komeko/index.html>
- FOOD ACTION NIPPON「米粉倶楽部」
<http://www.syokuryo.jp/komeko/>
- KOMOKO.NET [全国穀類工業協同組合]
<http://www.komeko.net/index.html>
- 米穀機構米ネット [公益社団法人米穀安定供給確保支援機構（略称「米穀機構」）]
<http://www.komenet.jp/>
- NPO 法人国内産米粉促進ネットワーク（略称「CAP.N」）
<http://www.cap-net.jp/>
- 日本米粉協会
<http://www.komeko.org/>

関東米粉食品メールマガジンは、**関東米粉食品普及推進協議会**が、会員の皆様から寄せられた様々な情報をもとに、米粉の利用拡大のために情報発信しています。

皆様のご意見・ご質問、ご要望をお待ちしています。

関東米粉食品普及推進協議会事務局（関東農政局 生産部生産振興課内）
TEL：048-740-0406（直通） FAX：048-601-0533
*メルマガバックナンバー ⇒ <http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/merumaga/>